

小田原市オーガニックビレッジ宣言（案）

小田原市は、首都圏に位置しながらも豊かな自然に囲まれています。その恵まれた環境を活かし、農業については、産出額県内1位である果樹を始め、野菜、米などの農産物の栽培が行われています。平成22年には「小田原市有機農業推進計画」を策定し、小田原有機の里づくり協議会を中心に、有機農業に取り組みたい人への指導・助言や、消費者との交流活動の実施などにより、地域の有機農業の普及を図ってきました。

近年、国内外でSDGsや環境保全を重視する動きが加速していることなどから、化学肥料や化学合成農薬を使わず、環境への負荷が低い有機農業の必要性がより高まってきています。

そこで、国の「みどりの食料システム戦略」も踏まえながら、これまで培ってきた有機農業の栽培技術やノウハウを生かし、有機農業に参入しやすい環境を整えていくとともに、有機農業者だけでなく、関係事業者や消費者との交流を深め、地域ぐるみで有機農業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

本市は、「オーガニックビレッジ」として、有機農業の拡大により地域の持続可能な農業の実現を目指していくことをここに宣言をします。

令和6年3月 日